1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 11 月 26 日発行　SSKU　増刊通巻第 6891 号

NPO 法人わくわくかん
編集　〒115-0044
東京都北区赤羽南 2-6-6
TEL:03-3598-3337

シャケ Zo くん

SSKU わくわくかん リボン便り

http://www.wakuwakukan.net/

2020 年 12 月号 No.237

？？なぜリボン？？

生まれ変わった
再生したという意味の
（Reborn）。
新しく生まれ変わる
「便り」にしたくて、名付けました。

「発達障害」についてのお話し
ー家族懇談会で八木眞佐彦先生ー
スキルをまなべる場に

10 月 27 日、家族懇談会を開きました。荒川区の周愛荒川メンタルクリニックの精神保健福祉士・八木眞佐彦先生より、発達障害のある子どもへの関わり方を中心にご講演頂きました。
内容は大変具体的、実践的で、実際に発達障害を持つ方と向き合うためのスキルを学べる場となりました。その中でも置き換えスキルについては大変興味深い内容でした。
子供たちが深い悩みの中で発信する SOS には問題行動と受け止められることが少なくありません。摂食障害だったり、ネット（スマホ）依存、リストカットなど。
これらは、孤立感等の緩和のための自己流置き換えスキルなのかもしれません。ここに八木先生のおっしゃる「スマホ依存の子供たちからスマホを取り上げるのは逆効果である」という言葉につながっていくのだと思います。そこで自己流置き換えスキルが危険なものであったなら、安全なものに変えてあげることが大切だとおっしゃいます。例えば、電子ドラムや、多少危険なマウンテンバイクで河川敷を疾走する、またはペットのお世話など。自己の存在を十分に味わえる場所を、子供たちに与えるのが必要であるとのことです。
講演後半は、質疑応答となり、親御さんからの相談や、わくわくかん職員からの質問もありました。八木先生の丁寧な返答や助言をいただき、温かい雰囲気の家族懇談会となりました。いくつか、八木先生お勧めの本をご紹介いたします。

『ゲーム依存からわが子を守る本』　大和出版
『子は親を救うために心の病になる』　ちくま文庫
『この先どうすればいいの？18 歳からの発達障害』　大和出版

【お話しのポイント】

★発達に凹凸のある方は、様々な場面で誤解されて叱責を受けやすく、それが二次障害（依存症や意欲低下など）に繋がる場合もあります。苦手なことは助けを求められるようになる為、周りがマネジメントして、いずれは自分でマネジメントできるようになっていけるような経過が大切との事です。例として、お子様とボードゲームで遊ぶ事を通して、自然と助けを求められるようになった話がありました。
★しかしご家族の方としても事情があり、過労や、子育ての協力が得られないことによる孤立、自身の親との関係・子供時代の心の傷などから、親子が連帯できなくなる状況もあることを指摘されました。そこで、自分自身を知って受け入れ、自分らしく生きていく事・自分を褒めて、自分の時間を作る事をお勧めされました。何もしない時間を持つことが苦手な方には「カフェで 30 分、何もしないで過ごす」ことを練習して頂いているそうです。また、自身の気持ちを整えるために、ストレスの置き換えスキル、マインドフルネスなどが活用できるとの事です。
★また、家庭内のコミュニケーションにおいて CRAFT という方法が有効との事でした。「〇〇しなさい」と主導権を握るのではなく、「私は〇〇してくれたら嬉しいな」と自分の気持ちを何気なく、相手にとって逃げ道のある形で伝える様なやり方です。良い方法ですが、気持ちに余裕が無いと難しい時もある様に感じます。この方法を用いるためにも、自分自身の気持ちを整える事がとても大切なのだと思います。

- ✧　11 月 30 日（月）　リボーン・響交流会　10:00～
- ✧　12 月 07 日（土）　共同連運営会議　10：00～ Zoom 会議
- ✧　12 月 12 日（土）　就職支援フォーラム NIPPON2020　13:00～　ベルナール新宿（有料）
- ✧　12 月 12 日（土）　ブルースカイ 15：00～　はたらっくす 16：00～（自立訓練室）
- ✧　12 月 15 日（火）　現場協議会 16:30～
- ✧　12 月 22 日（火）　理事会　赤羽会館　15:00～

＜わくわくかん　12 月予定表＞

1998 年 10 月 9 日　第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 11 月 26 日発行　　SSKU　　通巻第 6891 号

わくわく配食サービス

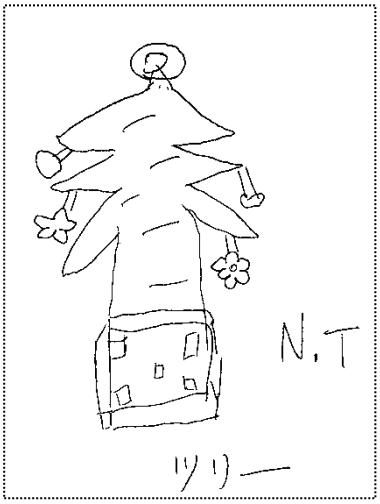
就労継続支援 A 型事業
北区赤羽南 2-6-6
TEL：03-3598-0089
FAX：03-3598-0089

【今年一年を振り返る】
綱渡りのような大変な年

今年も、最後の一月になりました。今年一年を振り返り一言で言うと「綱渡りの様な、大変な一年」とでも言えるのでしょうか?!

頑張ってくれていた常勤者の休職、その後も頼りにしている非常勤の調理の方、ドライバーの方の休職が続きました。

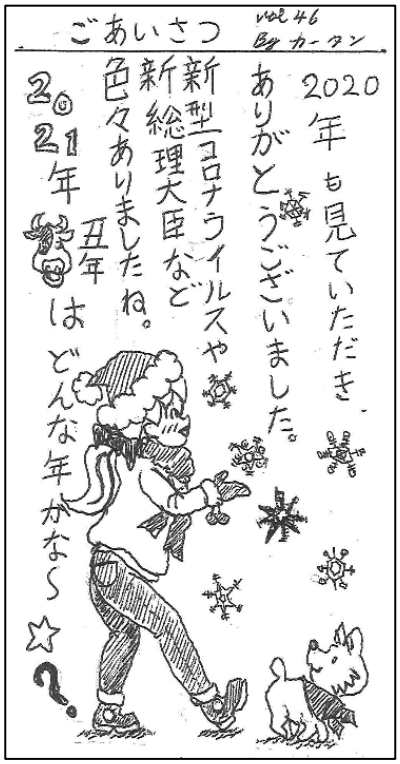
そんな状況でも、何とかいつも様にお弁当を作り、配達することが継続出来たのは残った非常勤スタッフをはじめとして、当事者スタッフの頑張りと感謝してもしきれない思いです。



非常勤＆当事者スタッフの頑張りに感謝

例えば､今まで自転車で配達することのなかった方も次々と自転車で配達に出てくれる様になり、何とか配達も継続しています。その他の業務(洗い場、事務等々)もリーダー的な役割をしてくれる方もそれぞれあり、安心してお任せできる時間が増えています。それぞれに、次の時間の仕事をする人が大変にならないように考えて仕事をしてくれています。私自身、皆さんからの気配りにどれだけ助けて貰えているか言葉にするのが難しい程です。

コロナもあり、心身共に体調管理が難しい年だと思いますが例年より安定して勤務出来た方が増えお互いに声を掛け合いながら助け合って仕事をされています。



9 月、11 月に新しく常勤者を迎えて更に皆さんの働きに応えていけるような何かが出来ると良いのにと考える日々です。

年末年始に向けて、コロナ対策を万全にして乗り切っていきましょう。

(N)

お鍋の季節

お鍋が美味しい季節になりました。

お鍋は旬の野菜もたくさん採れますし、心も体もあたたかくなる食べ物です。

白菜は霜が降る季節に甘みが増し、美肌効果のあるビタミン C,整腸作用のある食物繊維も豊富です。白菜に添えられる春菊はカリウムやカルシウムの吸収を助けるビタミンKを豊富に含んでおり風邪予防にぴったり。肌やのどの乾燥の気になる季節、お鍋は本当にお勧めです。寄せ鍋、水炊き、キムチ鍋、最近ではトマト鍋もメジャーになってきましたね。栄養エキスのたっぷり含まれたスープでラーメンやごはんで〆もお楽しみ！それぞれのご家庭のこだわりお鍋はどのようなお味でしょうか。

今回はスープが白い豆乳鍋レシピをご紹介します。

豆乳鍋
（2人前）

絹ごし豆腐　半分
鮭　一切れ
白菜　　8分の1
春菊　二分の一束
人参　三分の一
しめじ　1 パック
水カップ　2 カップ
調整豆乳 1 カップ
めんつゆ　1/3 カップ

①具材をお鍋に適した大きさに切っておく。②鮭は熱湯をかけておく。③鍋に水、調整豆乳、めんつゆをいれ火ににかけ、具材をいれてぐつぐつする。

1998 年 10 月 9 日　第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 11 月 26 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6891 号

自立訓練（生活訓練）事業 ボランティア響会

通称 響（ひびき）

〒114-0032　北区中十条 1-2-18
北区障害者福祉センター4F
TEL 03-5963-6888

外出（古河庭園）

10 月下旬、水曜日。響の外出で古河庭園に行きました。
天気も良く、お散歩びよりで、とても良かったと感じます。ちょうどバラの季節で、人が沢山来ていて、賑わっていました。見ていく中で私が気になった花は、名前は忘れてしまいましたが、淡いグリーンのバラです。白のグラデーションがとても特徴的でした。園内にある売店でポップコーンを買って食べている方がいたり、バラ風味のアイスを食べている方がいたり、とても美味しそうでした。私は午後の外出プログラムには参加しなかったのですが、初めての外出プログラム参加で、とても楽しかったです。（よもぎ）

響のプログラムで古河庭園に散歩に行きました。私は、出掛ける前に、スタッフの訪問があったので田端駅からのルートバスで直接古河庭園に行きました。ルートバスから降りる時、W さんが合図してくれて、もう少しで降りそこなうところでした。古河庭園を見学すると、バラが、たくさん咲いていてきれいでした。皇室の方々の名のついたバラもありました。みんなで、バラのアイスクリームを食べました。（ほそみん）

室内活動

10 月 21 日（水）のプログラムは外出で、古河庭園に行くか、響にのこって室内活動をするかで、ぼくは室内活動をえらびました。
午前は、響とリボーンの人達が毎日食べるみそ汁に入れる、野菜を切りました。午後は、わくわくかんが北区からうけおっているアンケート入力作業にはじめて入りました。入力作業は、小学生が書いた「おじゃま妖怪退治日記」という冊子にのっている記号を数字にかえたりしてパソコンに入力する作業です。入力作業はなれれば、かんたんなのですが外部から委託されている作業なのでミスがないようにチェックする、冊子は本人にけっこう大変な作業です。（かりんとう）

10 月 9 日　秋鮭と野菜のホイル焼き

野菜のせん切りとキノコのせん切りなどを混ぜて、味付けはみそバター醤油味にした料理をホットプレートで作りました。香りが良い大人好みの料理になりました。とてもおいしかったです。ご飯に良く合う料理です。塩とお酒で味がととのうと、もう食べ時です。食欲の秋。（D・T）

10 月 23 日（金）リズム体操プログラム

リズム体操といえば、スタッフの K さんです。よくあんなに動けるなあと思っていつも感心しています。竹の子体操やトトロの体操、あとひとつステップ体操をしました。私は、ひざが痛くなり途中でギブアップしてしまいましたが、みんなはよくついていってるなあと、感心しました。以前おどったぼんおどりも楽しかったです。（つんた）

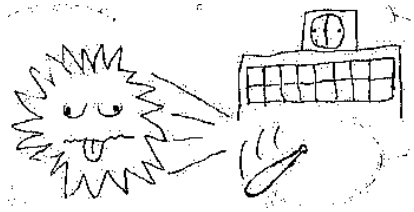
一言シリーズ

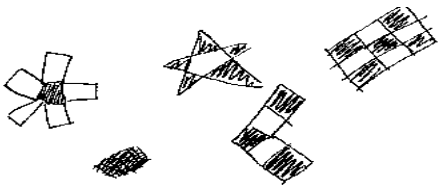
お鍋の季節です、好きな鍋料理と好きな理由を一つ！
白菜と豚肉のミルフィーユのお鍋が好きです。（よもぎ）
やっぱりチゲ鍋。体があったまります。（かりんとう）
好きな鍋は、おでんです。大根が好きです。冬は簡単に食べれるので、良く頂きます。（D・T）
私の好きな鍋は、すき焼きです。理由は、肉も卵も入っているからです。（つんた）
私の今食べたい鍋料理は中華の二色です。鶏がら白湯スープと赤色の麻辣味のスープの二つの味が楽しめ、やみつきになる鍋だと思います。（W,S）
きりたんぽ鍋、もち米が好きできりたんぽをモリモリ食べます。（F）

名刺

わくわくかんのスタッフ名刺は手作りです。先日、自分の名刺がなくなり、リボーンに作成依頼をしました。その際、冗談で「かわいいデザインにしてね！」と注文をつけました。数日後、手元に届いた名刺は、かわいらしい花束に、ふんわりとした背景がそえられており、私は 1 目見ただけで大変気に入りました。後日、リボーンスタッフに聞いたところ、担当作成してくれたのは I さん。私からの半分冗談をきちんと受けとめ、「手渡した時にやわらかい印象を相手に持ってもらえるようにするには」と、色々考えて下さり、工夫に工夫を重ねて仕上げて下さったとのこと。落ちつきなく、少々雑な私、この名刺を見るたび、作成してくれた訓練生の気持ちを思い出し、やわらかな落ちつきを身につけたい、と目標を新たにした思いです。（スタッフ）

響の作品展





1998年10月9日　第三種郵便物認可　（毎月3回8の日発行）
2020年11月26日発行　SSKU　増刊通巻第6891号

師走

就労移行支援事業

リボーンプロジェクト

〒114-0032　東京都北区中十条１－２－18
北区障害者福祉センター４Ｆ　Tel：03-5963-6888

東京都プリプレス・トッパンの会社見学

10 月 27 日（火）に東京都プリプレス・トッパン㈱（所在地：板橋区小豆沢）をリボーンプロジェクトのメンバーとスタッフで見学へ行きました。メンバー二手に分かれ、高性能なコンピュータによる印刷の様々な補正作業、IT 関連作業（セキュリティーが厳しい為、詳細まで見学できず）、紙を再生する紙すき作業、紙すきからの加工作業（品質基準は厳しい）。職場内の配慮された福利厚生などで驚き一杯です。　(T.F)

【訓練生の感想】

色々な業務が見れてよかったです。とくに紙すきに興味を持ちました　(Y.I)

職人わざという印象。細かくて機械作業から縁の下の力持ちな印象です。　(T.Y)

障害者問わず誰もが働きやすそうな環境だなあと思いました　(Y.A)

半年間通所してみて

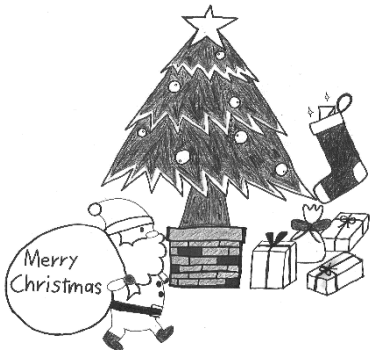
今回は、リボーンに半年間通所を始めて、どう感じ、変化していったかを書いていきます。まず、初期の頃は中々リボーンの環境に慣れず、結構荒れていました。（今考えてみると、自分の傲慢さと、苦手な業務内容のダブルパンチかもしれません。）その中でも、妙な劣等感などのマイナスな感情や、何が得意で、何が苦手か、見えていない自分もいました。結構早退を繰り返す日も、初期はありました。けれども、気づきが訪れました。業務をやっていくうちに、見えてくるものがありました。それは、「仕事も大切だが、人柄や礼儀も大切ということ」と、「何もしないよりも、中途半端でも何かを続けている方が良い」ということです。前者は、挨拶などで、相手との会話の種になることもあるのと、雰囲気で職場や業務が円滑に、回ることもあるのでとても大切だと思います。後者は、「中途半端ならば、何もしないほうがマシ」という人もいるかもしれません。しかし、中途半端でも、何かをやっていれば、身につくこともありますし、人からの目線よりも、自分が納得することの方がとても大切なことに気付きました。これから、最大一年と半年時間がありますが、一日一日を大切にしていきたいです。(T.Y)

体力づくり ～飛鳥山公園を散策～

11 月に入り、天気の良い日が続いています。冬に備えて体力づくりを図ろうと、飛鳥山公園へ散策に行ってきました。まずは一気に頂上まで登り、その後周辺を歩きました。日差しが暖かく紅葉し始めている木々もあり、青空のもとリフレッシュできました。帰りは王子神社に寄りました。七五三のご家族連れの方がいたり、立派なお神輿があったり、タッチパネル式の案内板があったりと色々な発見がありました。

【感想】とても天気のよい日で散歩日和でした。よい体力づくりになりました。紅葉はところどころ始まっており、秋の訪れを感じました。／久しぶりに公園に行ったので新鮮だった。神社のお神輿が大きかった。懐かしかった。／楽しめてよかったです。／飛鳥山公園では、桜のような木があり、思わず写真を撮ってしまった。通所時間と散歩を合わせて２時間近く歩いたので疲れた。／今回の目的地はどちらも昔よく行っていた所なのですが、久々ということなので新しい発見も見られました。

「12 月と言えば・・・」



- ❄ **クリスマスプレゼント。昔、年の離れた妹のために気を使って中学生までサンタさんに手紙を書いていました（笑）**
- ❄ **紅白歌合戦。毎年の定番ですね。**
- ❄ **チキンなどの、とり料理（ケンタッキーとか）。CM ではよく聞くのと、おいしさが引き立つから（寒さもある）**
- ❄ **サンタ。プレゼントをくれたりもするが、たまに、あらぬ方向にプレゼントが行くサンタもあるらしい。**
- ❄ **ゆどうふ。あたたかい。**
- ❄ **イルミネーション。町中でよく目立つ**
- ❄ **あげたてのからあげ。あたたかい。**
- ❄ **師走。いそがしい。**
- ❄ **クリスマス。クリスマスツリーもきれいだし、テレビ番組もクリスマス関連のものが多いから楽しめる。**
- ❄ **クリスマス。12 月といえばこれだから。**

1998年10月9日　第三種郵便物認可　（毎月3回8の日発行）
2020年11月26日発行　SSKU　増刊通巻第6891号

1998年10月9日 第三種郵便物認可　　（毎月3回8の日発行）
2020年11月26日発行　　SSKU　増刊通巻第6891号〈付録〉

障害者雇用就労セミナー

〈 日時・場所 〉

2021年1月16日（土）

13:00～17:00(開場12:30)

滝野川会館

JR京浜東北線上中里駅東口下車　徒歩7分

JR山手線駒込駅北口下車　徒歩10分

〈 趣旨 〉

障害者の働くことについて雇用においても福祉的サービスにおいても問題が深まっており、その点について多くのみなさんと問題点の共有と整理を行います。合わせて今年から始まる東京都のソーシャルファーム制度についての議論をします。

〈 具体的課題 〉

(1)障害者雇用―エスプールプラスに代表されるように、雇用代行企業の出現とその拡大が続いています。障害者雇用率制度が形骸化し、いろいろな企業で雇われているはずの障害者が一つの場所に隔離的に集められていることが問題です。

(2)障害者の福祉的就労―悪しきＡ型問題は何も解決しておらず、未だ下請け内職仕事のわずかな事業収入で給付金から障害者の給料は支払われたままです。そして、今はＢ型がグループホームとセットになって住居と仕事の場がセットになって給付金で儲けようとする事業者の参入が拡大しています。

〈 セミナー内容 〉

第Ⅰ部テーマ

エスプールプラスのような雇用代行企業から悪しきA型・B型就労までを考える

講師

山田奈緒　毎日新聞社会部

石橋通宏　参議院議員

厚労省　障害福祉課　障害者雇用対策課

斎藤縣三　共同連

第Ⅱ部テーマ

東京都のソーシャルファーム制度を考える

講師

藤木千草　東京都ソーシャルファームを考える会

東京都産業労働局

東京都議会議員

若畑省二　共同連

〈主催〉共同連　　〈共催〉東京都ソーシャルファームを考える会

〈連絡先〉NPO法人わくわくかん（藤井・柏井）　Tel:03-5963-6888 Mail:reborn@wakuwakukan.net

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 11 月 26 日発行　　SSKU　増刊通巻第 6891 号〈付録〉

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 11 月 26 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6891 号

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 11 月 26 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6891 号

劣化する障害者雇用と福祉的就労

—1.16 障害者雇用就労セミナーへの問題提起—

エスプールプラスという会社が設立されたのは 10 年前。それが、NHK や日経新聞で紹介・表彰され俄然注目されるようになったのは 4 年前。千葉で始まり、愛知、埼玉、東京・板橋、大阪と広がり続けている。ここで働く障害者は 1700 名を超え、2000 名へと向かって膨張し続けている。

新たな企業形態による障害者雇用支援、自治体支援という社会貢献企業と多くはもてはやされている。果たしてそうか。ここで働く障害者が 1700 名を超えたといっても、ここでは 1 人の障害者も雇用されてはいない。全て他社で雇用された障害者を受け入れて働かせているに過ぎない。すなわち、A 社で雇用されている B さんという障害者は、A 社に一度も顔を出したこともなければ、A 社の誰も B さんを知らないし、B さんも A 社の社員のことなど知らない。エスプールプラスは障害者雇用企業ではない。障害者雇用の代行企業なのである。

以上のエスプールプラスをめぐる問題点を要約すると次のとおりである。

① 企業は、自社において責任ある雇用を行わず、雇用率だけを形式的に満たし、障害者を社員として雇用し、働いてもらうことを放棄している。
② 代行業者は、大企業から中小企業までを利用し、そこから得られる手数料を売上げとしてもうけることをなりわいとしている。
③ そこで行う仕事は形だけで、そこにいる障害者はまともな仕事をしなくても給料を得られる。
④ 結果、代行業者は、農業などの仕事をおろそかにし、障害者は仕事の厳しさなど感じられないまま、現状に満足してしまう。
⑤ 大勢の障害者が 1 か所に集められ、障害者だけの空間をつくってしまう。

こうしたエスプールプラス型の企業は、拡がり続け、埼玉の「息吹」、五島列島の 「㈱JSH」などどんどん大きくなっている。法定雇用率が、2021 年更に 0.1%引き上げられる中、ますます、この代行業は拡大していく。そして、大問題なのは、厚労省がこれを合法として奨励していることだ。

障害者雇用だけではない。障害者就労の分野でも、2010 年から始まり、2012 年から急速に増加し、2018 年にブレーキがかけられた「悪しき A 型」は、共同連が一貫して問題としてきた。しかし、未だ何ら解決していない。5000 以上ある A 型事業所の約 7 割は、今も充分な仕事もなく、給付金から障害者給与を支払うことで成り立っている。もはや、厚労省、自治体にこの問題を解決する力はなく、放置したままの状況である。

それどころか、A 型でもうけられないとなった福祉ビジネスコンサルタントは、グループホーム・B 型セットでの障害者事業を推奨し、その数はどんどん増加している。そこでは、障害者の仕事や生活のことなど何も語られず、いかに給付金を集めて金もうけするかだけが語られている。障害者福祉の劣化もまた確実に進んでいる。

東京都ソーシャルファーム制度は、
新しい働き方につながる?

セミナー第 2 部として、急遽、今年から始まる東京都ソーシャルファーム制度を取り上げる。それが、障害者や雇用から排除されている人達の新しい働き方となっていくか注目するところである。

しかし、残念ながら、今年度の制度募集要項を見る限り、それには程遠く、様々な問題点がある。しかし、これは共同連が求めてきた「社会的事業所」制度を初めて具現化した、全国で唯一の自治体制度である。まずは、始まったこの制度を東京都庁のみなさんとどう育てていくかの勉強会としてこのセミナーを行いたい。それが、今の障害者雇用、福祉の劣化に対抗する重要な方法論である。

共同連は、何とかこのソーシャルファーム予備認証を取り、その改善に取り組みたい。

斎藤縣三

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 11 月 26 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6891 号

第 4 回わくわくかん家族懇談会のお知らせ

開催日時：2020 年 12 月 22 日(火) 16:00～
場　　所：障害者福祉センター4 階 自立訓練室
内　　容：茶話会
個人面談：17:00～(事前にお申し込みをお願いします)
連 絡 先：【TEL】03-5963-6888【FAX】03-3906-9997

市場や用地調査、工程作成へ
新規事業プロジェクトの報告

わくわくかん新規事業プロジェクトのご報告です。法人研修が発端となったこのプロジェクトも、ミーティングを毎月重ねてきましたが、もう 9 回になります。最初は理念の整理から始め、協力団体とチームと何度も会合を重ね、ヒントを得ながら事業計画を作成してきました。プロジェクトチームで手分けをして、テナントを借りることを検討している団地の市場調査に何度も行きました。団地の広場にいる人の年齢層・性別・時間帯で分けカウントし集計・グラフ化・分析を行いました。分析前は、ともかく高齢の方が多いのだというイメージを持っていたのですが、実際に集計してみると、子ども・子育て世代・外国人の方の多さに驚くことになりました。調査の重要性に気づかされ、どんな人が住んでどんな生活を送っているのか、団地のイメージが明確になってきたと思います。先日はテナントの内覧に行ってきましたが、テナントによっては想像していたよりも広い印象を受けました。どんな風に店舗となっていくのかを想像するだけで、気持ちも高まります。

今度は制度の活用を検討して申請準備のため、手分けをして書類を集めたり、事業所の名称を決めたり、メンバーの案を考えたり…といった段階です。必要な備品・設備をリストアップし、今後は審査に向けて工事の図面作成の段階に取り掛かっていきます。これから時に壁にぶち当たることもあると思いますが、なんとかやってやれることと疑いません。新規事業を成功させ、地域と法人の発展を目指して取り組む所存です。

（S.F）

私たちの仕事（5）

私は、響でのミニクッキングのプログラムで皆様と調理をいたしております。飽食の時代と言われ、好きな物を、好きな時に、好きなだけ食べられる生活環境になっております。だからこそ、自分で調理した物を食べられる喜び、楽しさを体験して頂きたいです。

リボーンでは、販売イベントに繋がる品物の製作をしております。人それぞれ手先の器用さに違いがあっても、必ずやれる事があります。敬遠していた事が出来る事で新たな自分の発見に繋げて欲しいと思います。

また、ご自身で製作した品物が売れる現場に立てるのが販売イベントです。今年は、残念ながらその機会に恵まませんでした。

そんな時、利用者の方々からの要望で「マスク」と「エコバッグ」を製作したらとのご意見を頂きました。早速、裁断と縫製を皆様の手により製作を始めました。

そんな中で、ご自身の手で作ったマスクとエコバッグを購入し、お母様へプレゼントされた方がいらっしゃいます。また、マスクの売れ行きも好調で関わって下さった方々は自信が持てたことと思います。

次は、何に挑戦しましょうか？　（M.K）

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 11 月 26 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6891 号

「一時保護所」のお仕事

投稿

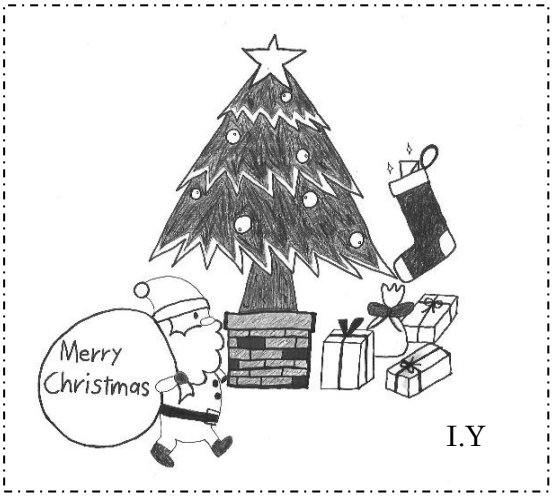
2 か月を上限に子供を預かる施設です

みなさんは「一時保護所」って聞いたことがありますか？「何それ？」って？では「児童相談所」は聞いたことがある？「ああ、虐待のニュースで出てくるところね」。そうです。一時保護所とは、児童相談所に所属する施設で、「子どもの安全のために、一時的に保護者（主に親）と物理的に離した方がいいよね」って判断された時に、２か月を上限として２歳から 18 歳未満の子どもを預かる施設のことです。

そこで「離した方がいいよね、と判断するのは誰なの？」という疑問が浮かびます。通常はケースワーカー（社会福祉士）と保護者とのやり取りを経て、最終的に児童相談所長が判断することになります。ところが、子どもが暴れたり、保護者などによる虐待が疑われたりといったケースでは、通報を受けた警察が子どもを一時保護所に直接連れてくる場合があります。（これを「身柄つき通告」といいます。この話をするとリボン便りが埋まってしまうので、もしあれば別の機会に…）

現在私が働いている一時保護所は、50 名弱の定員に対して、一年間に約 400 名の子どもが入所します。今年度は特に一日の増減が激しく、一晩で幼児が４名入所した日もありました。きょうだいで保護されると、一度に人数が増えます。特に身柄つき通告は直前に連絡が入るため、受け入れる先生方は大忙しです。

今年度はなぜか、小学校低学年の男の子が多く入所してきます。授業はドリルを使った自習なのですが「先生わかんなーい！」の嵐。自由時間は「先生～、〇〇くんがあおってきまーす」の嵐。とにかく静かな時がありません。けんかもしょっちゅうで、「ぼくは悪くありません」「あいつがやった」と、おもちゃ箱をひっくり返したようなにぎやかさです。



50 名に年間 400 人が

そんな保護所でも『鬼滅の刃』は大ブーム。小学１年生の女の子も「炭治郎～♪しのぶ～♪」と盛り上がっています。働き始めて間もない初夏の頃、５年生の男の子が「もうコラージュやらない!!」と突然すね始めました。理由を聞くと、「鬼滅の載っている雑誌を△△ちゃんに取られたから」。やれやれ…一日くらいは穏やかに過ごさせてくださいよ…と苦笑いしながら、また保護所の一日が暮れていくのでした。

＜書籍＞『ジソウのお仕事』…児童相談所のケースワーカーの実体験をもとに書かれたコラムをまとめた１冊。中央図書館にもあるので、気になる方はぜひ！

（元わくわくかん非常勤 M ・K）

「はたらっくす」のあれこれ

はたらっくすは、私がコーディネーターをしていますが、皆が自発的に発言してくれるので楽です。

他の場の話で「何で、私がピアカンして貰いに行っているのに、こちらが相手のピアカンをしなければいけないのか？」という苦情を聞いた事があるので、私の話は控えめにしていますが、これからはもう少し私も露出して行きたいと思っています。

障害者福祉センターのエレベーター工事に伴って、来られた方にセンター内を道案内する仕事がこの間に終わりましたが、私はその仕事に力を入れていました。何ヶ月かやる中で、ある日に突然精神的に視界が良好で明るくなりました。その時から自分の中で「やりがい」が生まれた様なのです。確かに、ここに私のするべき仕事があって、誇りを持って良いのではないか、と思えました。一緒にお仕事したシルバー人材センターのメンバーの方々も、皆、とても良い方達でした。エレベーターの工事をする方々の専門技術には眼を見張りました。最後に調子を崩し、シフトに穴をあけてしまいましたが、良い経験になりました。

（じっちゃん）

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 11 月 26 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6891 号

レイバーフェスタ 2020～コロナを吹き飛ばせ！

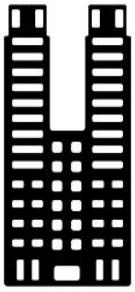
映画『雄叫び―気象変動へのたたかい』など多彩

今年の「レイバーフェスタ」は 12 月 26 日（土）、10 時 15 分から東京･田町交通ビル 6 階ホールで開かれる。フランスで製作されたドキュメンタリー映画**『雄叫び―気象変動へのたたかい』**（1 時間 40 分・2016 年）の上映が話題。フランス・バスクの Bizi（環境と社会正義の活動団体）が 2015 年のパリ COP21（国連気候変動会議）へ自転車で抗議活動に出発し、世界のあり方を変える運動として世界中から集まった若者の「雄叫び」がパリの空にとどろき世界を変えつつある。日本初公開のこの映画上映に期待が集まっている。

恒例の川柳入賞作の発表の後、京都在住のシンガーソングライター、3 人の子どもを育てながら障害者施設代表の川口真由美さんの歌などかあって映像＋トーク＜ニッポンの今＞で 4 作品が上映される。①原発事故 9 年のフクシマの今を描く**『フイーネ　2-2-A-219』**と製作者中筋純と避難者の堀川夫婦のトーク。②難民申請者や非正規移民は、外国人収容所での収容と仮放免を繰り返している**『強制送還～終わりなき入管の暴力』**(山村淳平)。③パワハラ新法の不完全さを北穂さゆりがえぐる**『バスドライバーの憂鬱』**。④契約社員で正社員の半分の差別待遇に非正規 2100 万人の思いを背に「私たちはあきらめない！」と立ち上がった**『メトロレディブルース 5』**のビデオプレスの作品だ。いずれも初公開で期待される。

田町交通ビルは JR 田町駅芝浦口から徒歩 3 分。参加費　一般当日 1700 円、前売・予約 1500 円、失業者・障がい者 1000 円、学生 20 歳以下無料

予約・問合せ　レイバーネット日本　TEL03-3530-8588 FAX03-3530-8578



考える会　都庁で担当者 2 名と議論

「東京都ソーシャルファーム条例」で

この便りでも何回かお伝えしているところですが、昨年の 12 月に東京都においてソーシャルファーム条例が制定されました。ヨーロッパや東アジアでは一般的な存在となっているソーシャルファームが、日本で初めて東京で制度化されることになったわけです。その後、今年の 6 月に認証・支援についての指針が公表されました。私たちは、ワーカーズコレクティブの有志や共同連に加入している他団体などと共同して､「東京都ソーシャルファーム制度を考える会」というネットワークを立ち上げ、上記の指針の問題点について議論し、9 月末に質問・要望書を東京都へ提出しました。

この質問・要望書について、10 月中に懇談の機会を持つ予定でしたが、10 月 9 日に今年度のソーシャルファーム認証・補助についての募集要項が発表され、認証手続きが確定されることとなりました。募集要項は、社会的事業所やソーシャルファームについて長く研究してきた私たちにとって、後に述べるように大きな問題点をはらんでいるものでした。

「考える会」は、10 月 28 日の 1 時から都庁のソーシャルファーム制度の担当者二名と、懇談会を行いました。前述の質問・要望書に対する回答を受けて、募集要項も含め制度全体に関する活発な意見交換ができました。その中で、東京都のソーシャルファーム制度に対する捉え方と、私たちの問題意識との間に、大変大きな距離があることが浮き彫りになりました。

今回の募集要項は、障がい者の庇護付き就労とは異なる、当事者が他の従業員と区別なく共に働く職場としてのソーシャルファームの本来的なあり方とは、かなりかけ離れていて、障害福祉サービスに類似した「支援」の枠組みが採り入れられています。また、ソーシャルファームに対する補助が、新規に事業を開始する事業体に偏重していて、大企業中心の特例子会社も認証・補助の対象となっています。一方で、これまで草の根で小規模に社会的事業所を実践してきた団体に対する考慮というのが、全くなされていないというのが現状です。

さらには、認証の基準が大変抽象的で、審査の裁量が非常に大きくなってしまっているにも関わらず、審査委員会は非公表で、審査手続きの透明性確保にも大変消極的な点も、大きな問題点として挙げられます。

これらの問題点を私たちは、東京都の担当者に対し強く主張しましたが、共通の了解が得られることはありませんでした。ただ、補助の規模が 5 年間で 8 億円余りと大きいこと、認証の基準に達した団体は、全て認証して補助金を出すということの二点を確認できたのは、収穫といえば収穫でした。

懇談会は 2 時間近くに渡り、今後も意見交換の機会を設けていくということは､合意されました｡これからは､すでに成立したソーシャルファーム制度を、活用できる部分について活用していく一方で、次年度の募集に向けて制度改善の提案を積極的に行っていくというのが、必要になってくると考えています。　（S.W）

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 11 月 26 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 6891 号

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可 （毎月 3 回 8 の日発行）
2020 年 11 月 26 日発行 SSKU 増刊通巻第 6891 号

ちぎり絵共作（ひびき）

就労支援センター北わくわくかん

登録者（2020 年 10 月末） 978 名
就職者 0 人
就労相談…567 件 生活相談…327 件

先月 ご協力いただいた皆様

東京都労働局・東京都精神保健福祉民間団体協議会・北区障害福祉課・北区健康推進課・北区社会福祉協議会・北区障害者福祉センター・ハローワーク王子、池袋、飯田橋、上野・東京障害者職業センター・東京しごと財団・東京都立精神保健福祉センター・東京都立王子特別支援学校・北区社会福祉協議会・北区教育委員会・就労支援フォーラムNIPPON2020・津久井やまゆり園事件を考え続ける会・社会福祉法人月山福祉会・NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会・企業組合ワーカーズコレクティブキャリー・NPO 法人ゆめ風基金・あしたや共働企画・反貧困ネットワーク・特定非営利活動法人のらんど・ＮＰＯ法人ソーシャル・クリエイターズ・企業組合あうん・共働事業所よって屋・シャロームの家・NPO 法人太陽と緑の会・認定ＮＰＯ法人やまぼうし・エルコープ協同組合運動研究会・新型コロナ災害緊急アクション・社会評論社・だるま舎・地涌社・一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク・レイバーネット日本等、お世話になりました。

グループホームわくわくかん

先日、ＧＨの火災報知器が誤作動で鳴ってしまう事がありました。急に大きな音がして驚かれただろうと思います。火災報知器は紐を引っ張っても鳴ってしまいますし、煙式の火災報知器だとホコリがたまったり、虫が入ったりしても誤作動で鳴ってしまうようです。翌日、すぐにグループホーム内の火災報知器を見回り、掃除を行いました。すると、ホコリがすごく溜まっている火災報知器を見つけて、誤作動が起きやすくなっている状況であることが分かりました。火災報知器の掃除はつい忘れがちになりますが、定期的に掃除する必要性を感じる出来事でした。

▼編集後記▼

「介護事業者の倒産」が過去最高というニュースは、コロナ災害が、弱い立場の子ども・女性・外国人に加えて、高齢者を直撃していることを示している。今回、子どもの虐待問題を「一時保護所」として 6 面に取り上げたが、女性の 20～30 代の自殺が昨年に比べ倍増しているし、埼玉の川口でのクルド人の職・食・住宅・医療に困窮している状況を紙面に取り上げてきた。障がい者もまた三密を避けるため就労の機会を失い、在宅支援のノーニマルでコミュニケーションの機会を失って鬱になっている人たちも多い。

深刻なのは、介護事業の倒産と休廃業・解散は共に過去最多というだけでなく、小規模な「訪問介護事業」が 46.1%と突出、大手事業者との競合で脱落したデイサービスなど小回りの利く「通所・短期入所介護事業」が 30.7%と倒産の実に８割を占め、地域密着型の小さな事業に集中している。当事者と家族の悲鳴が聞こえてくる。

発行所 郵便番号 157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会 定価 100 円（会費に含む）